２０２４年１２月

登録団体：１２８、登録個人：４５　（２０２４年１１月現在）

佐野市市民活動センター

心をつなぐ　人をつなぐ

ここねっと

第７３号

Try it now!!　～やってみようからはじまる市民活動～

参加者募集

R7 1/18（土）

第１回オープン型「みんなのしゃべり場」つながりささえ合う子育て支援の輪

自分の子育て経験がテーマに

企画したここねっとスタッフの吉成は、子育て世代のママたちからこんな話をよく聞きます。「結婚して子どもを育てる、当たり前だと思っていたことがこんなに孤独だと思わなかった。」

つながる人のいない土地で子育てをすることは、たいへんな重労働です。

子育ての悩みは次々に変化していきます。イヤイヤ期、小学校入学、思春期。今すぐ聞きたい、相談したいことも多々あります。

子育ての「ちょっと困った」を、支えていこうと活動をする人が佐野市にはいます。市民活動、ボランティア、NPO。市内で活動している人に賛同し、応援したいと考える企業や事業者。そんな皆さんが対等な立場で話せる場所をここねっとが用意しました。それがオープン型「みんなのしゃべり場」です。興味のある人はぜひご参加ください。

ここねっとオープンデー

参加者募集

R7 2/15（土）

グループ・わっくる

男女共同参画についてクイズと川柳を通して楽しく考える

あなたにとって生きやすい社会とはなんですか？

～川柳から見える男女共同参画～

ジェンダーフリーをご存じですか？難しいと思った方は、こちらがおすすめです。川柳を題材に、コント仕立てで笑いながら楽しく考えるグループ・わっくるの講座です。

後半はリラックスタイム！キーボードの伴奏で、楽しく歌って気分をリフレッシュ！ぜひご参加下さい。

参加団体・個人募集

The 出張、市民活動ライブ(ミニ) at AEON MALL

R7 2/23（日）

登録団体のPRの場、イオンモール佐野新都市で開催してきた「パネル展」。今回から、演奏やワークショップなどの活動披露するLIVEが加わります。イオンモールでの発表を希望する登録個人・団体はここねっとまでお問い合わせください。たくさんのご参加お待ちしています！

参加団体・個人募集

R7 2/2（日）第2回利用者連絡

第２回利用者連絡会を開催します。今回は災害に備えるために、令和元年の台風19号の水害を振り返りながら、防災について考えます。講師は、佐野市社会福祉協議会　熊倉幸太郎氏です。被災者支援やボランティア活動など、皆さんで一緒に考えましょう。

ここねっと活動報告

令和6年度　第1回利用者連絡会

令和6年９月８日

22の登録団体と個人登録を合わせて32名の参加のもと、令和6年度利用者連絡会を開催しました。参加者の自己紹介や活動紹介の後、アンケート形式でご意見をいただきました。皆様とセンターの現状や運営状況について意見を交わす貴重な機会となりました。

ここねっとオープンデー

「朗読を楽しむ会」

朗読サークル　凛の会

令和6年11月16日

物語の情景が目に浮かんで、会場が一体となる魅力的な朗読会でした。

30名を超える方が来館されました。気持ちのこもった朗読に、次第にどんどん引き込まれていく様子が見えました。来場者から「作者の文章による世界を、朗読の豊かな表現で感じることが出来ました。」などの感想をいただきました。

また、凛の会は「多くの方々から『良かったです』と温かい言葉をいただき、これからも益々頑張っていきたい」と話されていました。

ここねっと広場

「災害ボランティアセンター設置訓練」

佐野市社会福祉協議会

令和６年12月1日

令和元年の水害の教訓を生かすための災害ボランティアセンターの設置訓練が行われました。自主防災組織連絡協議会や企業など、26団体から約70名が参加しました。ボランティアとして誰もが活躍できることを期待し、知識と技術を共有する実務的な訓練になりました。

「国際交流で広げよう!まちの HERO!!」

さのフォーラム事業

令和６年11月16日

佐野清澄高校を会場に、国際交流を目的としたイベントが開催されました。堀米町のモスクを利用する方々や高校生が集まり、ゲームや発表を通して楽しく交流を深めました。

「助成金合同説明会 2024 とちぎ」

とちぎボランティアNPOセンター　ぽ･ぽ･ら

令和６年10月５日

助成を実施する団体の担当者から、内容について直接聞くことができる説明会が開催されました。ここねっともサテライト会場として参加しました。助成金で活動の幅を広げようという、参加者の熱い思いが伝わってきました。

「高齢者との関わり方・ボランティア講座」

主催:認定 NPO 法人まごの手

後援:市民活動センターここねっと

令和６年10月５日

3回講座の最終回は、とちぎボランティアネットワーク代表の矢野正広氏による講演でした。SOS を出せる社会をどう作るか、それを受け止め、協力者へつなぐことができるかということを、自分事として考える機会になりました。

登録団体の活動紹介～vol.12～

日本語ボランティア

団体として活動を始めて今年で21年になります。現在は、毎月第1・第3日曜日に教室を開いています。

以前は、話し相手や困りごとの相談を受けることが活動の多くを占めていましたが、技能実習生が増えると、日本語の学習の場としてより求められるようになりました。

受講者が増えるとともに、ボランティアさんも募集中です。難しく考えず、外国籍の人とお話を楽しむつもりで気軽に応募していただきたいと思います。

新規登録団体

ポーラ with you

プライベートサロンを営むポーラ with you です。POLA の企業理念である、「BLOOM OUR TOWN」【地域に根ざした活動】の実践として社会貢献活動も行なっています。

POLA は美容と健康は切り離せないという考え方から、フェムケアについて「あなたのガマンを答えにしない」をキャッチフレーズに啓発活動を行なっています。それぞれのライフステージによって起こる女性ホルモンと心・体のゆらぎについての講座や、ハンドトリートメントでのリラックス効果、肌の個性を知る肌分析などをご提供いたします。

ここねっと取材記事

10/27「2024 佐野市ふくしフェスタ in くずう」が旧葛生小学校で開催されました。手話サークルわたらせと佐野高校生が合同で手話ソングをステージで発表しました。

10/16 NPO 法人植野たすけあいは、佐野市市民活動参画支援事業を活用し、不登校児童の居場所づくりを行っています。この日は市内の和菓子屋さんの協力で、和菓子作りを体験しました。

9/25 佐野プレミアム・アウトレットの社会貢献活動として、佐野南中の2年生のキャリア教育プログラムが実施されました。アウトレットと南中が、地域に根ざした視点で進めた協働プログラムです。

9/20 佐野市シルバー人材センター主催「お茶べりサロンブギウギ喫茶」が、ひよこまめの2人とジャンベ奏者の売野さんを迎えてにぎやかに開催しました。皆さん生き生きとして笑顔があふれていました。

9/18 蕨市社会福祉協議会と登録団体の皆さんが、視察研修でここねっとを訪問しました。交流会では、活動の苦労話や裏話が飛び交い、終始笑顔あふれる時間となりました。

9/16小学生を中心に環境について学び、考える力を育むイオンスタイルチアーズクラブでは、「リサイクルを考えよう」をテーマに、吉田登志幸氏を迎え勉強会を開催しました。

助成金情報

・助成金についてはじめて学ぶ方向けの講座を開催します！

講座名：「助成金で活動を広げよう」
日時：令和７年１月２６日（日）10：00～
対象：助成金について知りたい方どなたでもご参加できます
お申し込みはここねっとまでご連絡ください。

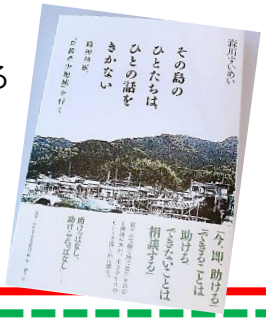
・全日本冠婚葬祭互助協会　社会貢献基金助成
【申込み〆切：令和７年１月３１日】
福祉事業の他にも環境・文化財保全や、地域におけるつながりづくりなどの活動に助成を行います。
対象団体は非営利組織（任意団体・NPO 法人など）であれば申し込みできます。

ここねっと文庫紹介

「その島のひとたちは、ひとの話をきかない」

青土社　2016 年

“できることは助ける。できないことは相談する。”「自殺希少地域」の旅で感じたこの地域性を、精神科医である筆者がまとめています。
生きやすい地域について考えることのできる一冊です。
サロンに開設している「ここねっと文庫」に所蔵しています。
ご興味のある方はご一読ください。



取材の様子はこちらから！
随時更新中！ぜひご覧ください

公式 X　　公 式 Facebook

これからの予定（令和７年）

1月18日(土)　第1回オープン型みんなのしゃべり場
「つながりささえ合う子育て支援の輪」
1月26日(日)　助成金で活動を広げよう
2月　2日(日)　第2回　利用者連絡会
2月15日(土)　ここねっとオープンデー　グループ･わっくる
「あなたにとって生きやすい社会とはなんですか」
2月23日(日)「The 出張、市民活動ライブ(ミニ) at AEON MALL」

佐野市市民活動センター ここねっと

〒327-0003
佐野市大橋町 3211-5
TEL/FAX 0283-20-5166
MAIL:sanosc@sctv.jp
HP:https://kokonet-sano.jp

開館時間
火～土　9:00～21:00
日･祝日　9:00～18:00
休館日　月曜/ 12 月 29 日~1 月 3 日

編集後記

あれから一年が経とうとしています。年の初めの正月、「えっ」「まさかっ」「なんで？」という言葉しか出ない光景がニュースとして伝えられました。夢を描き希望を語る場であった新年の団らんは、抗うことが許されず破壊されました。それまでの経験と比べようとすることが確実に不可能な強い力による大地震が能登地方を襲ったのです。そして、数か月後には更に豪雨にも見舞われました。
私たちは、今年一年を掛け被災した方々の再起へのご努力に学び、能登地方の復興を支援される方々に市民活動の成すべき姿を見てきたような気がします。
新年においても皆様からいただく学びや経験を活かしながら、つながりのお手伝いができる市民活動センターでありたいと思います。一年間お世話になりました。

文：(ペンネーム)秋山游酔